



補助資料 (小学校)

導入の例



先生「先生、お手紙書いてきたの」

児童「誰に？」

先生「絵に」

児童「絵に～！？」「変なの～」

先生「まあまあ、実はこの絵のひとつ  
に向けて書いたんだよね」

児童「ほ～」

先生「どんなお手紙書いたか、  
みんな聞いてくれる？」

児童「は～い」

お姉さんたちへ  
天気が悪くて残念ですね。  
赤色ドレスの女の子と犬も  
悲しそうな顔にみえます。  
つぎにドレスを着るときは  
晴れたらいいですね。

読み終わったら、作品を見て気づいた点（表情、色、背景、手の位置など）と手紙の関係をいくつか紹介して、みんなも自由に想像して書いてみようを持ち掛ける。

作品解説

※作品名は伏せた方が自由な発想で手紙が書ける場合があります。



河合新蔵 「道頓堀」(1914年)

ちょうど110年前の道頓堀川を描いた作品。川端に立ち並ぶ特徴的な建物を背景に、2艘の船が川を行き交います。建物や人物が映り込んだ水面に、船が通った跡が筋を描き、揺らめきで生じたさざなみが点描風に描き出されています。建物を見てみると、日よけや手すり、洗濯物などが細かく描写されており、生活者の存在が感じられます。明治・大正期に活躍した河合新蔵は、水彩画の名手とうたわれ、克明な写実描写を得意としました。



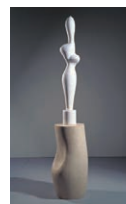
アンドレ・ポーシャン  
「果物棚」(1950年)

川が流れる緑豊かな自然の中に、果物がぎっしりと並べられた棚が置かれています。棚の周りには様々な花が咲き誇り、虹のような色彩の蝶が飛びまわるこの世界は、さながら楽園のようです。ポーシャンは家業である園芸師の見習いをしていたため、植物には詳しくたのでしょう。正規の美術教育を受けることはなかったものの、素朴で味わいのある作風で評価を得ました。



マリー・ローランサン  
「プリンセス達」(1928年)

4人の女性たちが犬とたわむれながら寄り添い、こちらに視線を向け微笑んでいます。柔らかな曲線と、パステルカラーを中心とした淡い色彩によって、優雅で幸せな世界が創り上げられています。ローランサンは、男性中心の20世紀初頭の美術界で、対等な芸術家として認められた数少ない女性画家のひとり。パリで舞台美術家や肖像画家として華々しく活躍していた時期の大作です。



ジャン・アルプ  
「植物のトルソ」(1959年)

この彫刻は大理石でできており、紡錘形の真ん中ほどに丸みのある突起やくぼみが形作られています。滑らかな曲面による抽象的なフォルムは、女性の立像に見える一方で、芽吹いた植物にも見えます。アルプは抽象的な造形を追求しながらも、根底に常に有機的な生命の形態への関心を持ち続けました。「トルソ」とは人間の胴体のこと。植物と人体を組み合わせたタイトルもまた、成長や変容など、生命にまつわる様々な要素を想像させます。